

科目名		授業形態	担当教員名	
循環器学		講義	遠藤 宏和	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 ( 2 単位)		30 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
循環器・呼吸器系の解剖学的構造と生理学的機能を相互に関連させ、循環器系疾患の症状・病態から検査法、PCI、薬物療法等の治療法や予後を理解するための基礎知識を身につける。				
授業の到達目標				
臨床工学技士業務として必要な循環器系の解剖・生理・症状・病態を理解し、その治療法へ繋がる知識を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	循環器系疾患 (疫学)	16	症状 (胸痛・呼吸困難)	
2	心臓の解剖と心力学	17	症状 (動悸・失神)	
3	心臓の解剖 (弁について)	18	症状 (浮腫・チアノーゼ)	
4	冠動脈 (生理・走行パターン)	19	症状 (ショック)	
5	冠動脈 (血流規定・自己圧調整機能)	20	循環障害	
6	心筋細胞と活動電位・伝導速度調節	21	循環器系での検査 (X線・エコー・経食道心エコー)	
7	心周期と心音	22	薬物療法 (心血管作動薬)	
8	心機能指標 (心拍出量規定因子)	23	輸血療法	
9	心機能指標と関連病態 (前負荷・後負荷)	24	心臓カテーテル検査 (造影)	
10	心機能指標と関連病態 (その他)	25	心臓カテーテル検査 (FFR・IVUS・OCT)	
11	前負荷・後負荷軽減療法/心血管系の流体的特徴	26	循環器系疾患 (不整脈・高血圧)	
12	前負荷・後負荷軽減療法	27	循環器系疾患 (心不全・弁膜症)	
13	循環調節	28	循環器系疾患 (大動脈)	
14	循環調節 (液性調節)	29	循環器系疾患 (先天性心疾患)	
15	臓器循環 (脳・肝・脾・腎)	30	まとめ	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
病気が見える vol. 2 循環器	医療情報科学研究所		メディックメディア	
臨床工学講座 臨床医学総論	篠原一彦・小谷透		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				